

## 和 泉 市

市・自治会・NPOの三者協働による子育て支援  
～「いずみ・エンゼルハウス鶴山台」における取組～

## 背景

我が国の出生率は、一貫して低下傾向が続き、平成17年度の合計特殊出生率が全国で1.25にまで低下し、特に都市部での出生率の低下が危ぶまれています。今日の少子化の背景としては、晩婚化や非婚化が挙げられますが、結婚後の夫婦の出生力の低下という新たな現象も顕在化しており、少子化が一段と加速することが危惧されています。

また、都市化の進展に伴う核家族化や地域コミュニティの質的变化など、地域や家族における子育て支援機能の低下が問題視されており、気軽に子育て相談を行える環境に恵まれず、育児疲れなどに伴う孤立感、閉塞感が広がりつつあります。

このような中、子育てへの不安や負担を解消し、住み慣れた地域で誰もが生き生きと子育てを行える環境を整えるため、市、自治会、子育て支援NPOの三者が一体となって、平成16年4月1日から「つどいの広場事業」の一環として「いずみ・エンゼルハウス鶴山台」を開設しています。



## 施設の概要

「いずみ・エンゼルハウス鶴山台」は、独立行政法人都市再生機構の開発した団地内の、ショッピングセンターや公共施設などが集積する利便性の高いエリアに立地しています。団地1階の物販・サービス用スペース285平方メートルを賃借し、一時保育ルームやつどいの広場などの設備を備えています。なお、都市再生機構関西支社内で、空き店舗を活用した子育て支援施設としては、初めての取組となります。

- (1) 所在地 和泉市鶴山台二丁目1番1-108号  
いずみ・エンゼルハウス鶴山台
- (2) 延床面積 285㎡
- (3) 主な設備 多目的ホール、一時保育ルーム、授乳室、親子トイレ、相談室
- (4) 開館時間 午前10時から午後7時
- (5) 休館日 土・日・祝日・年末年始

## 鶴山台団地における取組事例

鶴山台団地では、平成11年に子育てサークル「子育て支援の会」が発足し、老人集会所等を拠点に交流活動を行っていました。同会は、平成14年にNPO法人「いずみ・鶴山台母親クラブ」として活動を開始しましたが、参加者が増加するにつれ施設が手狭になり、新たな活動拠点の確保が課題となりました。

こうした状況を受け、本市が団地1階の空き店舗スペースを賃借するとともに、自治会が市から助成金の交付を受けて施設整備を行い、「いずみ・鶴山台母親クラブ」が施設の運営を行う形で、三者協働による子育て支援拠点「いずみ・エンゼルハウス鶴山

台」をオープンする運びとなりました。

現在は、「いずみ・鶴山台母親クラブ」が、エンゼルハウス事業の企画・立案・運営など全て担っています。自治会は、スタッフなど5名が人的支援を行っており、市役所への要望などパイプ役としてもNPO法人の支援を行っています。また、本市は、運営の助成、広報などの側面支援を行っています。

「いずみ・エンゼルハウス鶴山台」では、三者が協働することにより、いつでも気軽に気兼ねなく親子が集って交流や相談ができ、支え合い、育ち合う場、リラックスできる場を提供しています。

## 主な活動内容

### (1) 子育て親子の交流、集いの場の提供

リズム体操や絵本の読み聞かせなど、親子が自由に利用できるつどいの広場を設けています。

### (2) 子育てに関する相談、援助の実施

子どもの発育・育ちなど一般的な問題にとどまらず、子育てについての多岐にわたる相談事業を実施しています。

### (3) 地域の子育て関連情報の提供

親子教室や育児相談、会報紙の発行等により、地域の子育てに関する情報を提供しています。

### (4) 子育て支援に関する講習の実施（親学習講座）

子育て支援に関する講習・講演等を児童の健全育成に資することを目的に実施しています。

### (5) ファミリーサポートシステム（一時保育）

いずみファミリーサポートセンターの提供会員等の協力による一時保育事業を行っています。

## 利用者の声

現在、スタッフ33名（専従5名、有償ボランティア5名、無償ボランティア23名）で運営していますが、子育てや生活全般の情報交換ができる場として、交流の輪がどんどん広がっています。

利用者数は、平成17年度で延べ22,181人と、地域のニーズが高く、利用者からも「同じ年頃の子どもを持つお母さん達と話をするだけで元気になります」

や「我が子を叱ったりしていましたが、子育ての悩みを共有することができ、子どもに優しく接することができるようになりました」など、非常に良い評価をいただいています。



## 今後の展開

エンゼルハウス事業は、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、親たちが安心して子どもを生み、子育てに夢を持てる社会づくりを推進するため、地元町会・自治会及び子育て支援NPO法人が一体となり、地域において子育て・子育ての支援を必要とする住民すべてに対して支援していくことを目的に取り組んでいる事業です。

本市では、地域のニーズが高いことから各中学校区に1か所を目標に設置に努めていますが、和泉市次世代育成支援行動計画では、平成21年度までに4か所の設置を目標としています。平成18年度においては、「(仮称) いずみ・エンゼルハウス北松尾」及び「(仮称) いずみ・エンゼルハウス和泉」を開設予定です。

今後も、和泉市次世代育成支援対策行動計画の基本理念である「地域が“子育て・親育て”応援隊」に基づき、地域社会の子育て・親育てを応援する仕組みの整備を目指します。